

2020年11月12日

各 位

会社名 株式会社 ブイキューブ  
代表者名 代表取締役社長 間下 直晃  
(コード番号：3681 東証第一部)  
問合せ先 CFO 経営企画本部長 山本 一輝  
(TEL. 03-5475-7250)

### 中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は2020年12月期を含む3か年を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、別添の通りお知らせいたします。

当社IRサイトにも掲載いたしますので、ご参照ください。

<https://ir.vcube.com/jp/>

以 上

# 中期経営計画(2020-2022)

～Beyond テレワーク～

株式会社バイキューブ

2020年11月12日



1. 事業環境の変化と当社の方針.....	3
2. 事業戦略.....	10
3. 経営目標.....	32

# 1. 事業環境の変化と当社の方針

# Evenな社会の実現

～すべての人が平等に機会を得られる社会の実現～

誰もが境遇に左右されず、機会を平等に得られる世界をつくりたい。

人と人が会うコミュニケーションの時間と距離を縮めることで、  
より豊かな社会を実現できる考えています。

大都市一極集中、少子高齢化社会、長時間労働、教育／医療格差など、  
課題先進国の日本をはじめとした、世界が抱える課題を  
ビジュアルコミュニケーションを通じて解決し、  
社会を担うすべての人が機会を平等に得られる社会の実現を目指します。

コロナにより、テレワークに対する認識が一新され、社会実装が急速に進行している

	Beforeコロナ	コロナ禍
文化	<ul style="list-style-type: none"><li>コミュニケーションは対面で行うのが大前提</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>「リモートで会う」非対面文化の急速な浸透</li></ul>
ワークスタイル	<ul style="list-style-type: none"><li>テレワークは先進的な企業の限定的な取り組み</li><li>通勤時間と満員電車による心理的、肉体的負担</li><li>長時間労働の改善が社会課題</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>テレワークは多くの企業で「当たり前の選択肢」に</li><li>テレワークの普及により移動時間からの解放、働き方・働く場所の自由度の拡大</li></ul>
遠隔コミュニケーションサービスの捉え方	<ul style="list-style-type: none"><li>あれば便利なサービス</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>必要不可欠な社会インフラ</li></ul>

より幅広い事業活動のコミュニケーションにてリモート化の動きが浸透  
有益性の気づきにより、この傾向は継続すると考えられる

## 緊急事態宣言

### テレワーク環境整備

- 社内コミュニケーションの  
リモート化に向けシステム導入
- 社内会議
  - テレワーク

## 緊急事態宣言解除後

### 事業活動再開に向けた取り組み

#### 社内利用シーンの拡大

- 商談、採用面接、社内研修/イベント
- 社内外でのテレワークスペース確保
- 新たな領域での活用が積極化  
(フィールドワーク、現場作業支援等)

#### 社外コミュニケーションのリモート化

- マーケティング活動（展示会、商談会）
- 採用活動（採用説明会）
- IR活動（四半期説明会、株主総会等）

#### サービス提供のリモート化

- 教育、医療、金融、ヨガ・フィットネス、  
ライフスタイル領域、エンタメ領域

## Withコロナ

### リモート化の有益性を実感

- 移動時間の削減により生産性向上
- 業務リモート化による経済合理性
- 採用地域・人材の多様化

- 商圏、顧客接点の拡大
- データ利用による訴求効果の高まり

- 商圏、顧客接点の拡大・広範囲化  
(場所に制限されないサービス提供による  
機会均一化)
- リモートを前提とした新規ビジネスの創出

人と人のコミュニケーションはTPOに合わせてハイブリッドへ  
場所に制約されず、ライフステージや個々のスタイルに合わせた選択が可能となっていく

## Beforeコロナ

## Withコロナ

働き方

出社

在宅

人と会う

対面

リモート

イベント

会場に行く

オンライン

## Afterコロナ：選択肢のある社会

コミュニケーションはハイブリッドに

- 出社/テレワークの組み合わせ
- 会える人には直接会う/制約があればリモートで
- 近ければ会場でイベント参加/遠ければオンラインで

同じ企業にしながら移住

趣味/交友はリモートで進化

学びはいつでもどこでも

どこにいても健康で

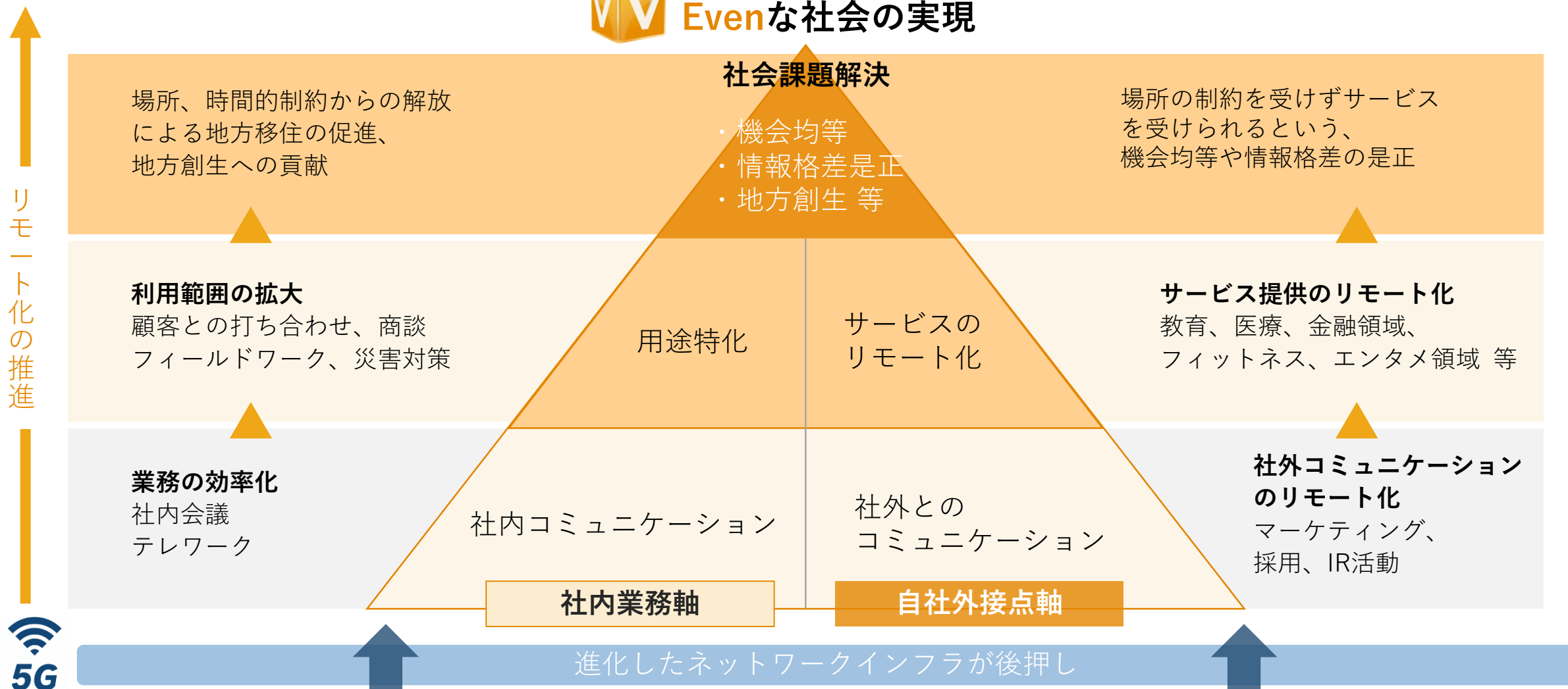


↑ 進化したネットワークインフラが後押し ↑



自社内/外 コミュニケーションのリモート化潮流が継続  
ネットワークインフラの進化も後押しし、「Evenな社会の実現」が推進できる状況

VV Evenな社会の実現



## Beyond テレワーク

～Evenな社会の実現に向けて、テレワークだけではない様々なシーンにおける  
リモートでのコミュニケーションを、日本に文化として根付かせる～

1. 「Evenな社会の実現」に向けて、テレワークの定着実現と共に、  
リモートを活用したコミュニケーションDXによる生産性・生活の  
質の向上を実現する
2. 新規事業領域の創出による、グループ全体の持続的な成長の実現
3. 企業価値の最大化の為の業績向上と株主還元

## 2. 事業戦略

## 1. エンタープライズDX事業

- 企業内外向けリモートコミュニケーションプロダクト提供
- SDKやハードを利用した業界/用途特化型ソリューションの開発、提供、運用支援

### 企業内外コミュニケーション



### 顧客事業/サービスのDX

遠隔  
教育/  
医療



ファンサービス/  
エンタメライブ配信



遠隔  
不動産/  
金融相談



SNS/マッチング  
コミュニティ



V-CUBE Video SDK

### ナレッジシェア/LMS

O.UMU



## 2. イベントDX事業



- 様々な分野におけるイベントのリモート化
- プロダクト提供と運用設計、当日のディレクションやログ解析などの運用支援



## 3. サードプレイスDX事業

- 企業や公共機関へテレキューブを提供
- テレキューブの高付加価値化とサードプレイス管理運営システムの開発、展開



TELECUBE  
テレキューブ コネクト

## コロナによる急激な事業環境の変化、拡大に伴いセグメントを変更

### 旧セグメント

#### ビジュアルコミュニケーション事業

- 汎用Web会議
- オンプレミス
- V-CUBE Video SDK
- 製薬業界向けウェブ講演会
- V-CUBEセールス+、QUMU

#### LMS事業

- LMS/TMS

#### アプライアンス事業

- V-CUBE Box
- 緊急対策、災害対策
- テレキューブ

Webセミナー、イベント  
配信領域を独立

LMS/TMSは「エンター  
プライズDX事業」に集約

テレキューブは  
「サードプレイスDX事業」として独立

### 新セグメント

#### エンタープライズDX事業

- 汎用Web会議
- オンプレミス
- V-CUBEセールス+、QUMU
- V-CUBE Video SDK
- 緊急対策、災害対策
- V-CUBE Box
- LMS/TMS

#### イベントDX事業

- 汎用Web会議（Webセミナー部分）
- 製薬業界向けウェブ講演会
- 採用系、IR系イベント配信

#### サードプレイスDX事業

- 企業用、公共用テレキューブ

## 主たる事業ドメイン

### エンタープライズ DX事業

- 企業内外向けリモートコミュニケーションプロダクト提供
- SDKやハードを利用した業界/用途特化型ソリューションの開発、提供、運用支援

### イベント DX事業

- 様々な分野におけるイベントのリモート化
- プロダクト提供と運用設計、当日のディレクションやログ解析などの運用支援

### サードプレイス DX事業

- 企業や公共機関へテレキューブを提供
- テレキューブの高付加価値化とサードプレイス管理運営システムの開発、展開

## 対面市場

企業内外コミュニケーション

顧客事業/サービスのDX

ナレッジシェア/LMS

製薬向けオンライン講演会

就職/採用オンライン説明会

バーチャル株主総会・決算説明会

企業向け

公共向け

## 提供SaaSプロダクト

V-CUBE ミーティング  V-CUBE Box  
 V-CUBE コラボレーション 

**V-CUBE Video SDK**

**O.UMU** 

**V-CUBE セミナー**

 EventIn

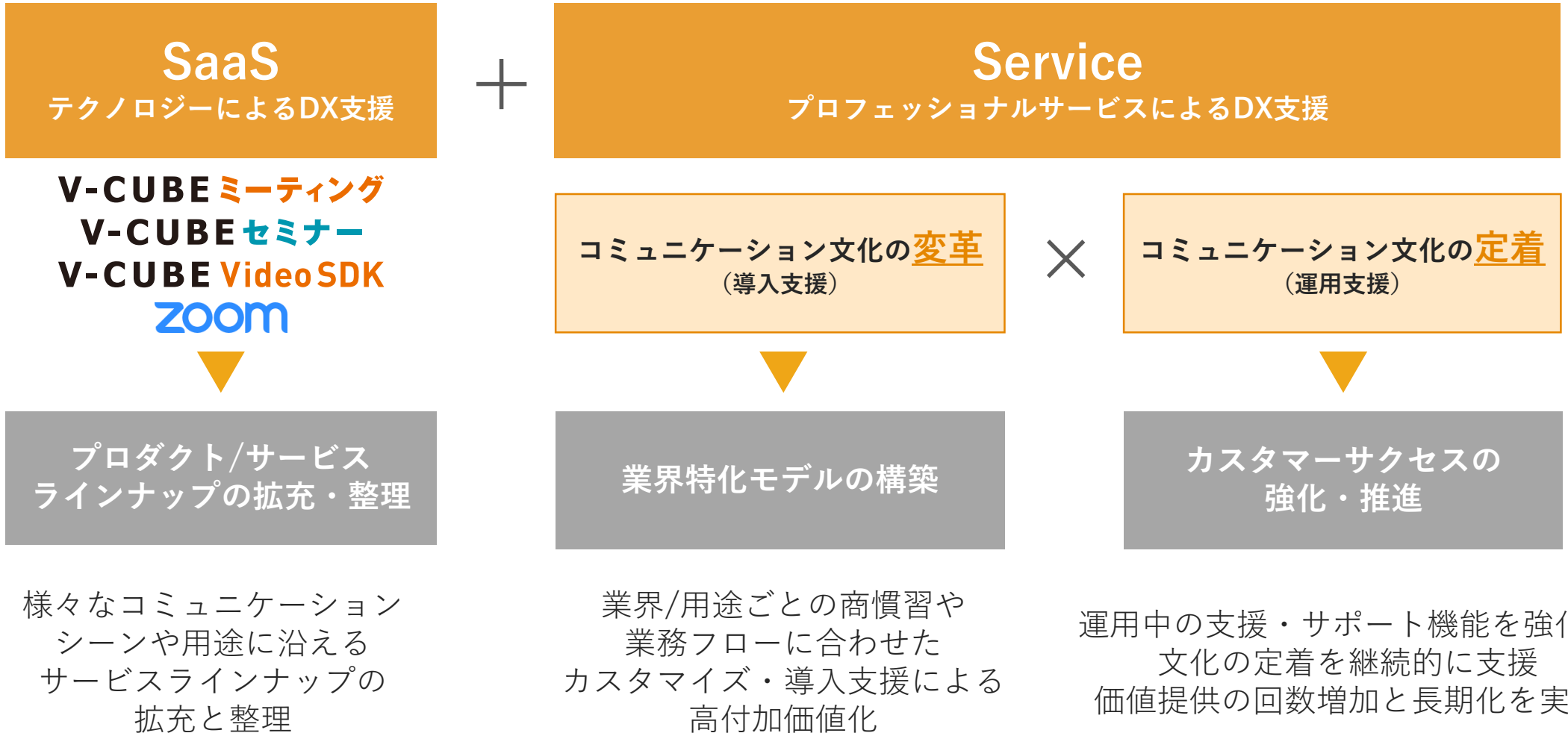
**TELECUBE**

テレキューブ コネクト

SaaS展開のみでなく、業界/用途特化の製品の開発・機能追加や運用サポートを通し、リモート化事業の成功を一貫して支援できることが当社の価値

価値提供モデル

実施内容



## 自社プロダクトを業界特化にカスタマイズし、オンライン配信の包括的支援とともにパッケージ提供

利用シーン



### 例：株主総会のDX要件

- 会場実施の総会のライブ配信（リアルとオンラインのハイブリッド型）
- 株主ごとの本人確認・認証のシステム化
- オンラインでの質疑応答や議決権行使の実施

当社の提供価値

SaaS

テクノロジーによるDX支援

+

Service

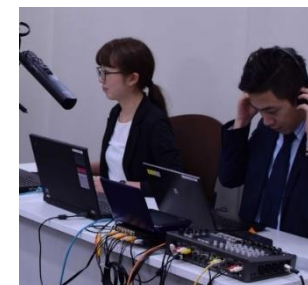
プロフェッショナルサービスによるDX支援

自社プロダクト  
**V-CUBE セミナー**



V-CUBEセミナーを軸とした、株主認証システムや議決権行使機能の**独自カスタマイズ**

×



ハイブリッド配信の設計、当日のオペレーション、データ集計などの**包括的な配信支援**



## リモートコミュニケーション関連の様々なプロダクトを提供し、 付加価値サービスを提供してきた当社だからこそ可能なSaaS + Service

### SaaS事業者としての経験・実績

当社は、日本におけるWeb会議リーディングカンパニーとして様々なプロダクトを開発・提供し、社会における課題の解決に取り組んできました。

- ✓ 2019年国内Web会議市場で13年連続シェアNo.1を獲得※
- ✓ コミュニケーションに関連した様々なDXプロダクトを関連支援サービスも含め開発・提供



※株式会社シード・プランニング社発行『2020 ビデオ会議/Web会議の最新市場とビデオコミュニケーション機器・サービス動向』において

### プロフェッショナルサービス提供によるノウハウと実績

当社は、Web会議やWebセミナーを駆使した自由な働き方の実践にとどまらず、蓄積した運用ノウハウをサービスメニュー化し、数多く提供し続けて来ました。



- ✓ Webセミナー配信スタジオを所有し高品質な配信を実施



- ✓ 年間にこなす配信は約5000件※ 蓄積したノウハウをプロフェッショナルメニュー化し提供

※2020年のお客様向けに実施する配信サポート提供数見込み

当社はテレワークの先駆企業として、

- 自社プロダクトを活用した柔軟な働き方の積極的实践
- 実践で得た知見を元にしたソリューション開発、顧客への導入・運用サポート提供を行い、コミュニケーションのリモート化を阻む様々な課題の発見・解決を推進してきました。



### 事業環境

### 当社の事業戦略

#### エンタープライズDX事業

- ・ 汎用Web会議の領域はコロナ影響での市場拡大が一巡し、飽和期へ
- ・ フィールドワーク、緊急対策領域のDXは今後も拡大
- ・ 顧客サービスの領域では、リモート化傾向は今後も継続

- ・ 汎用Web会議領域は**キャッシュカウ**として**安定的収益を見込む**
- ・ フィールドワーク、緊急対策領域は新しい**用途特化ソリューションモデル**として**市場拡大・獲得に注力**
- ・ 顧客サービス領域では、**SDKに開発サポート等を付加し顧客事業のDXに貢献** 事業拡大に向け**営業・開発体制強化**

#### イベントDX事業

- ・ 製薬企業が開催する医療関係者向けセミナーのリモート化がコロナ影響で急加速
- ・ 株主総会や採用説明会、社内研修、企業セミナーなど、多人数が参加するイベントにおいて、リモート化開催が浸透

- ・ **人的・物的リソースに対する積極的な先行投資を敢行し**、配信キャパシティを確保
- ・ 業界知見と豊富な経験・実績に基づく、**低コストながら高品質の配信運用サポートの提供**
- ・ **新サービス「EventIn」のリリース**

#### サードプレイスDX事業

- ・ テレワーク普及に伴うWeb会議の増加等により、企業内の遮音性のある個室スペース需要が拡大
- ・ 駅施設や大型オフィスビルなど、公共エリアにおけるインフラの一つとして、個室ワーキングスペース需要が急拡大

- ・ オフィス、複合施設、JR/私鉄駅構内など、公共・商業施設への**テレキューブ**設置を引き続き拡大
- ・ 1人用～4人用の用意、**サブスクリプション方式での提供**
- ・ テレキューブ内部での**付加価値アプリ/サービスの実装・展開**や**予約/空間管理ソフトウェアインフラの横展開**

## 事業環境

- 汎用Web会議の領域はコロナ影響での市場拡大が一巡し、飽和期へ
- 一方、フィールドワーク、緊急対策領域のDXは今後も拡大
- 顧客サービスの領域では、特に**エンタメ業界を中心に対面サービスのリモート化傾向は今後も継続**

## 提供価値

- リモート化に関する圧倒的な経験/スキルに基づくSaaS+Serviceの提供
- SaaSのハードウェアとの組込みによる**用途特化ソリューション**
- 低遅延・低コストな動画配信SDKと、手厚い開発・運用サポート**による、迅速な顧客サービス立ち上げ支援

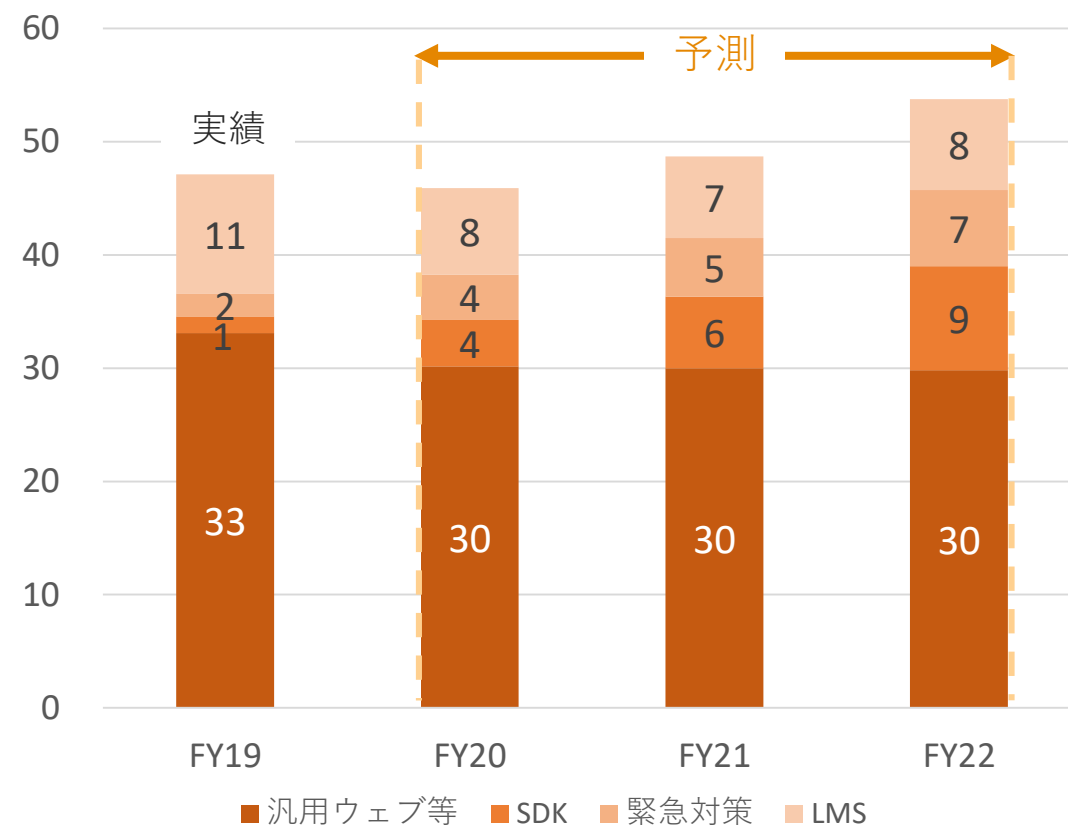
## 事業方針

- 飽和が見込まれる汎用Web会議領域はキャッシュカウとして位置づけ、**最小限の投資にて安定的収益**を見込む
- フィールドワーク、緊急対策領域は**用途特化ソリューションのモデルとして市場を拡大、獲得すべく注力**
- 顧客サービス領域では、**SDK需要の急増に対応すべく営業・開発体制強化し様々な分野・業界に積極展開**



## エンタープライズDX事業 売上高計画

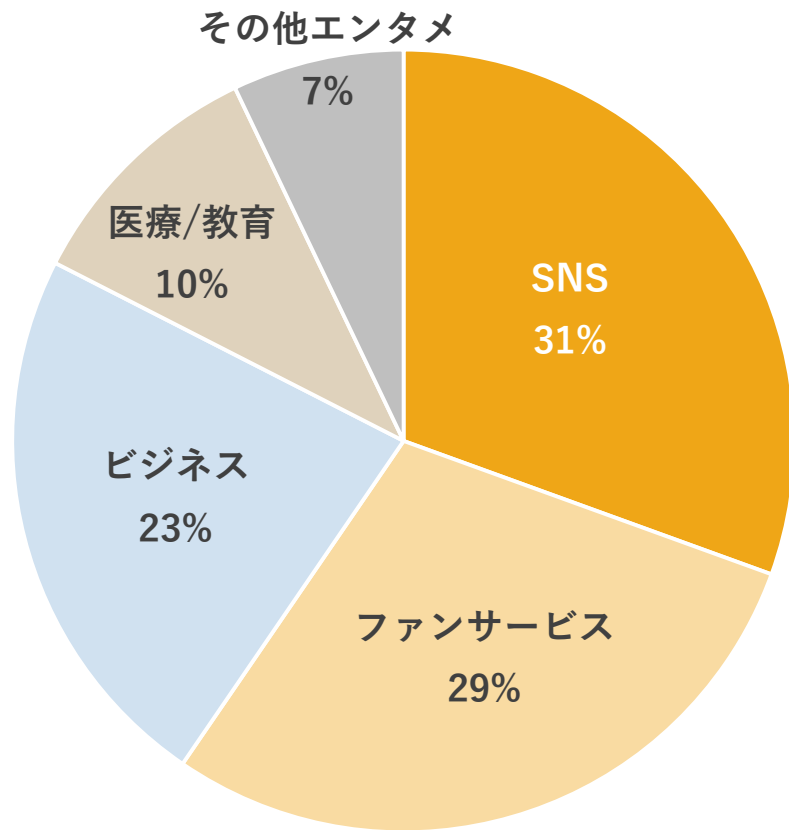
(単位：億円)



短期的にはエンタメ系の市場急拡大を享受、中長期的にはビジネス系の拡大による安定成長を目指す

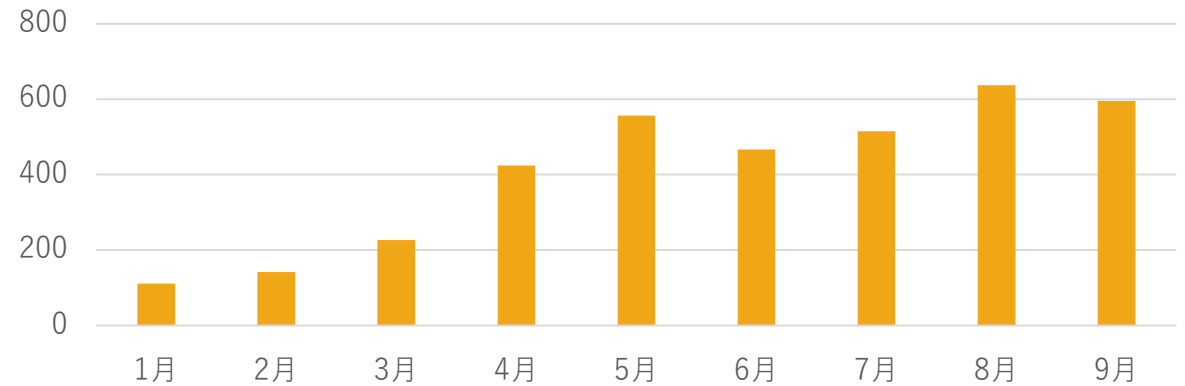
V-CUBE Video SDKの用途別構成（FY2020見込み）

※SPOT収入を除く



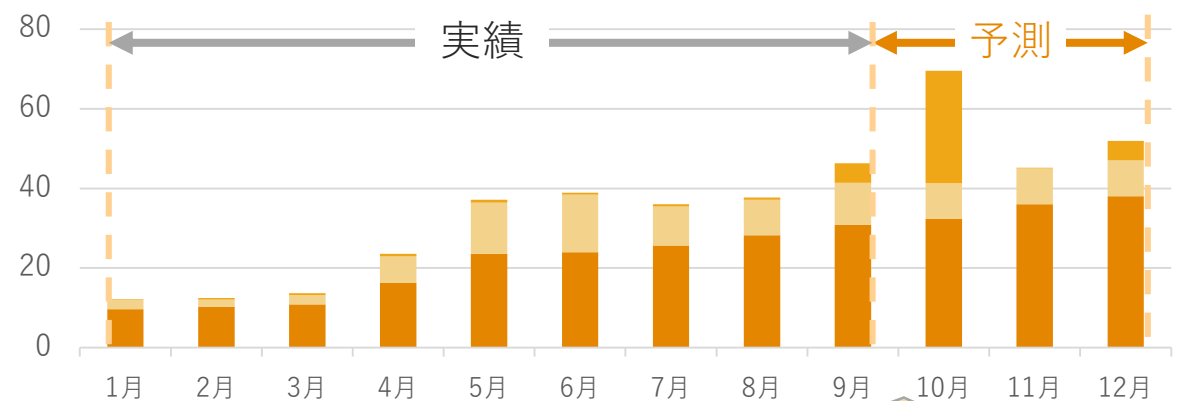
SDK利用分数（FY2020）

（単位：百万分）



V-CUBE Video SDK売上高の構成推移（FY2020見込み）

（単位：百万円）



■ 月額固定収入 ■ 超過利用料 ■ SPOT収入

月額固定収入が順調に伸長



多岐に渡る業界/用途にて、V-CUBEサービスによる事業・対面サービスのDXを実現

遠隔教育

オンライン英会話

株式会社ベネッセ  
コーポレーション様

**Bizmates**

株式会社ビズメイツ様



「書いて、話す」オンライン英会話  
**Best Teacher**

株式会社ベストティーチャー様

遠隔医療

オンライン診療



株式会社カナミック  
ネットワーク様



NTTエレクトロニクス  
株式会社様

オンライン医療相談



**Medical Note**

株式会社メディカルノート様

ビジネスツール

ビジネス用チャットツール



**Chatwork**

Chatwork株式会社様

遠隔採用

オンライン採用面接



**HUMANAGE**

株式会社ヒューマネージ様

EC

ライブEコマース



株式会社J・Grip様

遠隔不動産事業

オンライン重要事項説明



リクルート住まいカンパニー

株式会社リクルート  
住まいカンパニー様



株式会社LIFULL様

エンタメライブ配信

イベントライブ配信



株式会社Fanplus様

複数人コラボ配信

**SHOWROOM**

SHOWROOM株式会社様

スポーツライブ配信

**Sports IT Solution**

株式会社スポーツ  
ITソリューション様

ライフスタイル

オンラインフィットネス



**SOELU**  
SOELU株式会社様

SaaSをハードウェアに組み込み、用途に特化したソリューションを提供

緊急対策ソリューション

V-CUBE ボード × V-CUBE コラボレーション



特徴

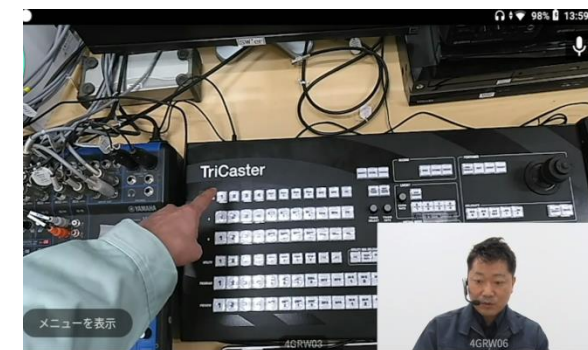
- 災害時の情報共有/集約：地図情報、災害現場とのリアルタイム通信、スマホ/タブレット/ドローン連携等

お客様事例（順不同）

- 品川区役所様、さいたま市消防局様、大分県庁様、兵庫県神戸市役所様、熊本県庁様、宮崎県庁様、東京ガス株式会社 扇島LNG基地様 等

フィールドワークソリューション

スマートグラス × V-CUBE コラボレーション



特徴

- スマートグラス上でのWeb会議（現場とのリアルタイム通信、図面や現場の映像・写真への書き込み）
- スマートグラスの音声制御

お客様事例（順不同）

- りんかい日産建設株式会社様、三井・ダウ ポリケミカル株式会社様、オルガノ株式会社様 等

## 事業環境

- 従来より進展傾向にあった**製薬企業が開催する医療関係者向けセミナーのリモート化**がコロナ影響で急加速
- 株主総会や採用説明会、社内研修、企業セミナーなど、**多人数が参加するイベントにおいて、リモートでの開催が浸透**

## 提供価値

- **低コスト、リモートならではのデータ活用による実施効果の向上**
- 深い業界知見と豊富な経験・実績に基づく、**配信運用サポートノウハウ、安定的な配信運用**
- **充実した配信キャパシティ（人材、設備、回線容量など）**

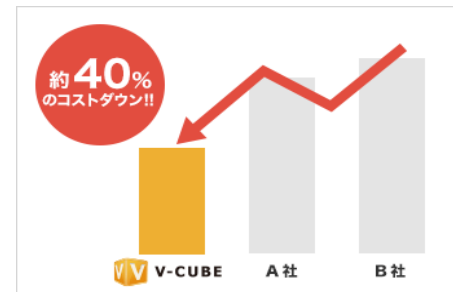
## 事業方針

- 急増する配信需要を確実に獲得するため、**人的・物的リソースに対して積極的な先行投資**を実施
- 低コストかつ高品質を武器に、**他領域イベントのリモート化を一層推進**
- **新サービス「EventIn」のリリース**により、双方向かつリアルに近いオンラインイベント実施・運営の需要に対応

## V-CUBEセミナー EventIn

### （参考）当社イベント配信サービスの特長

#### 高いコストパフォーマンス



#### 豊富な運用サポートノウハウ

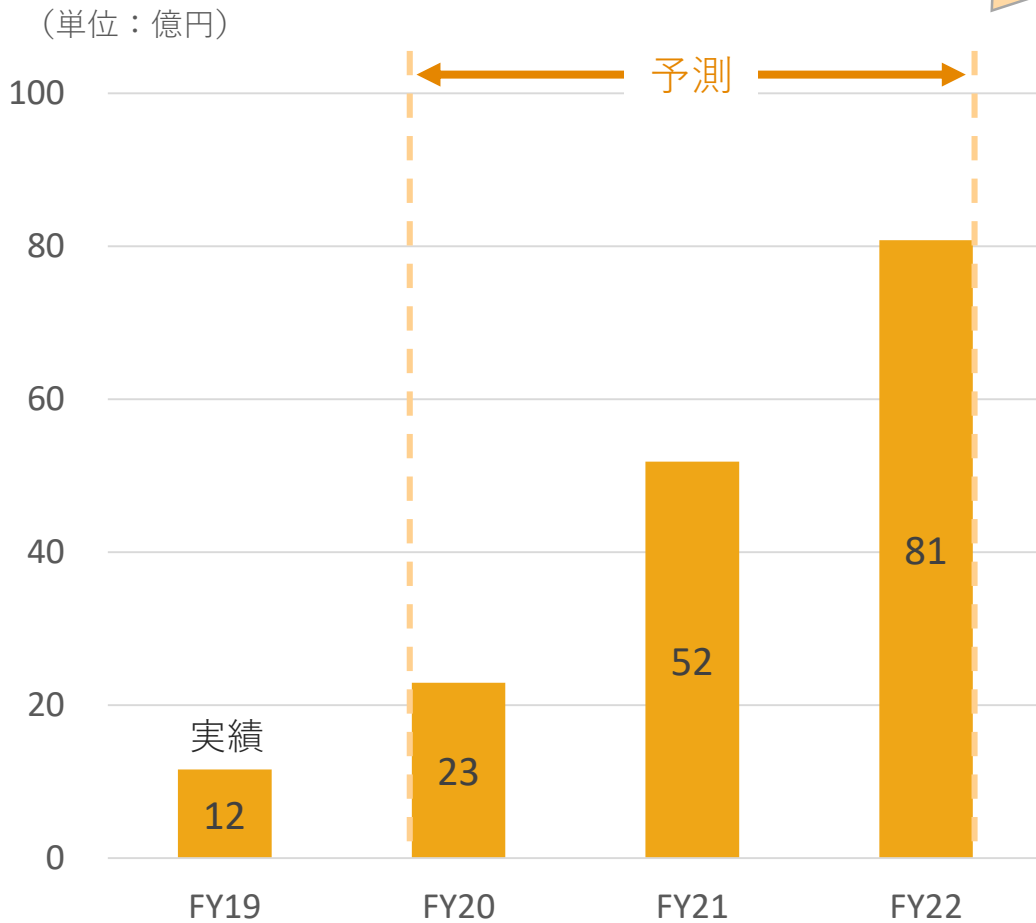


#### 充実した配信キャパシティ



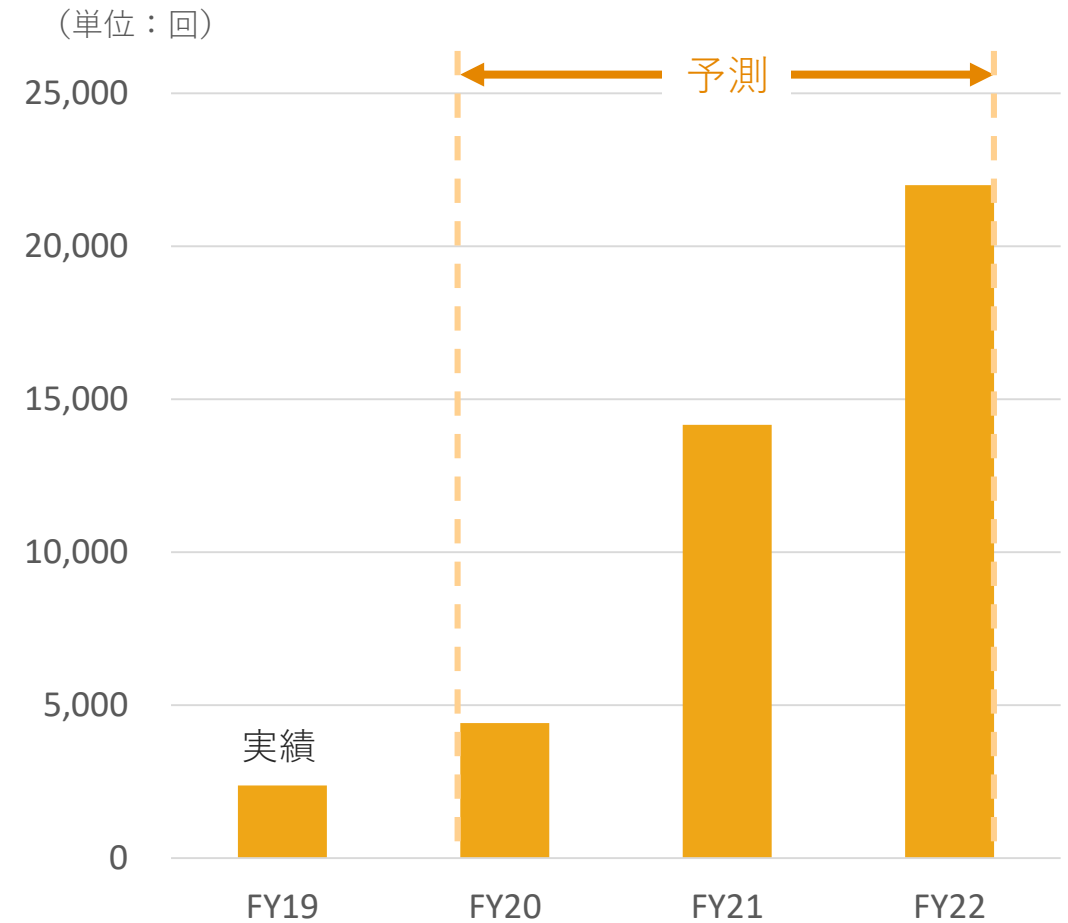


### イベントDX事業 売上高計画

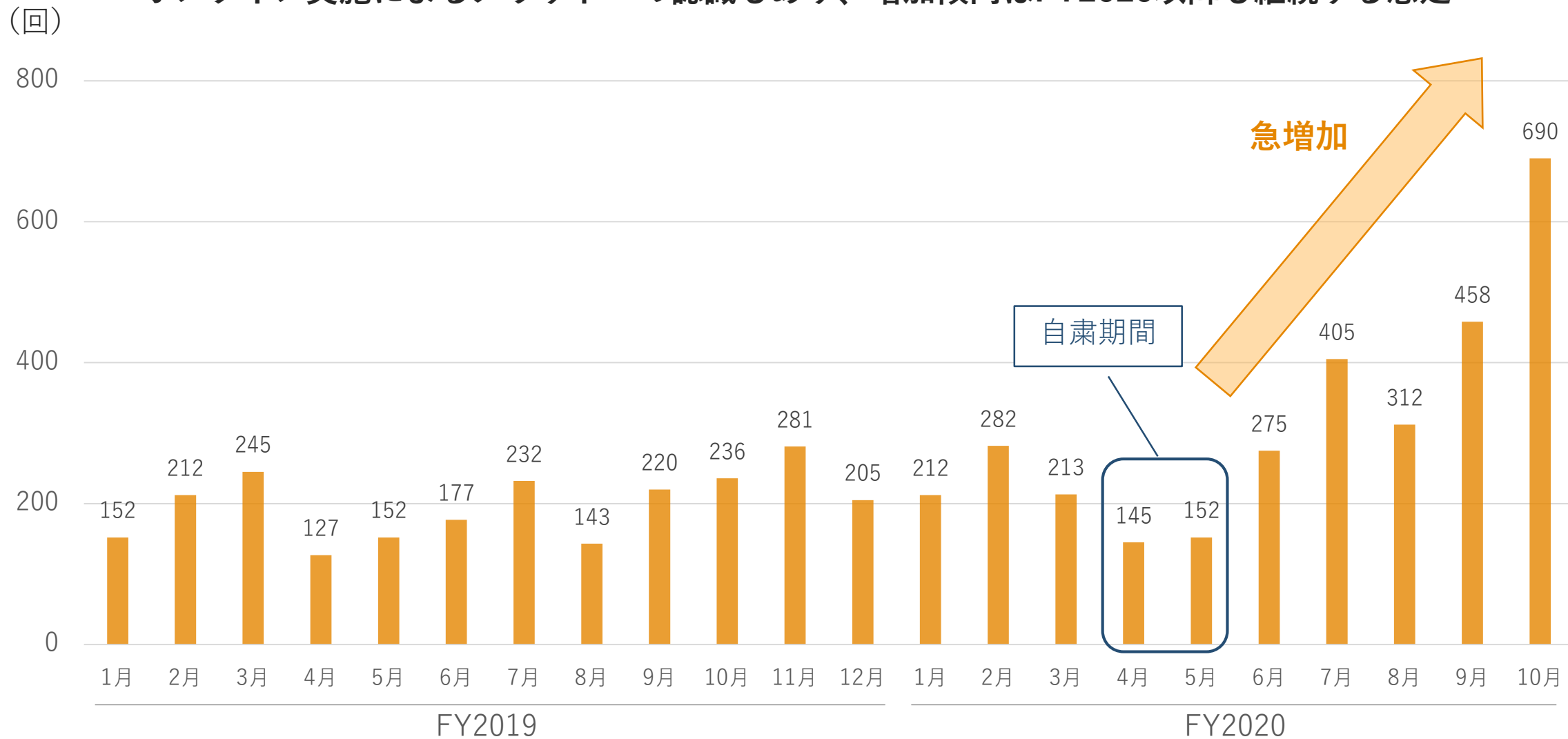


FY20以降、イベント開催回数とともに急激な売上増加を見込む

### イベント開催回数計画



自粛期間以降イベント配信件数は増加  
 オンライン実施によるメリットへの認識もあり、増加傾向はFY2020以降も継続する想定



リアルとオンラインのハイブリッド型でのイベント開催が主流となり、  
リモート化の流れは継続されることが予想される

開催形態

メリット

デメリット



- 参加者の反応を把握でき、  
名刺交換や交流会などの双方向  
コミュニケーションも可能

- 会場費やスタッフ人件費
- 集客エリアの制限
- 参加者データの集計が困難



- 会場費・人件費の負担が少ない
- 集客エリアの制約がない
- 参加者の行動データが取得可能

- 一方向になりがちで、参加者の反応が  
取りにくく、一体感が醸成しにくい

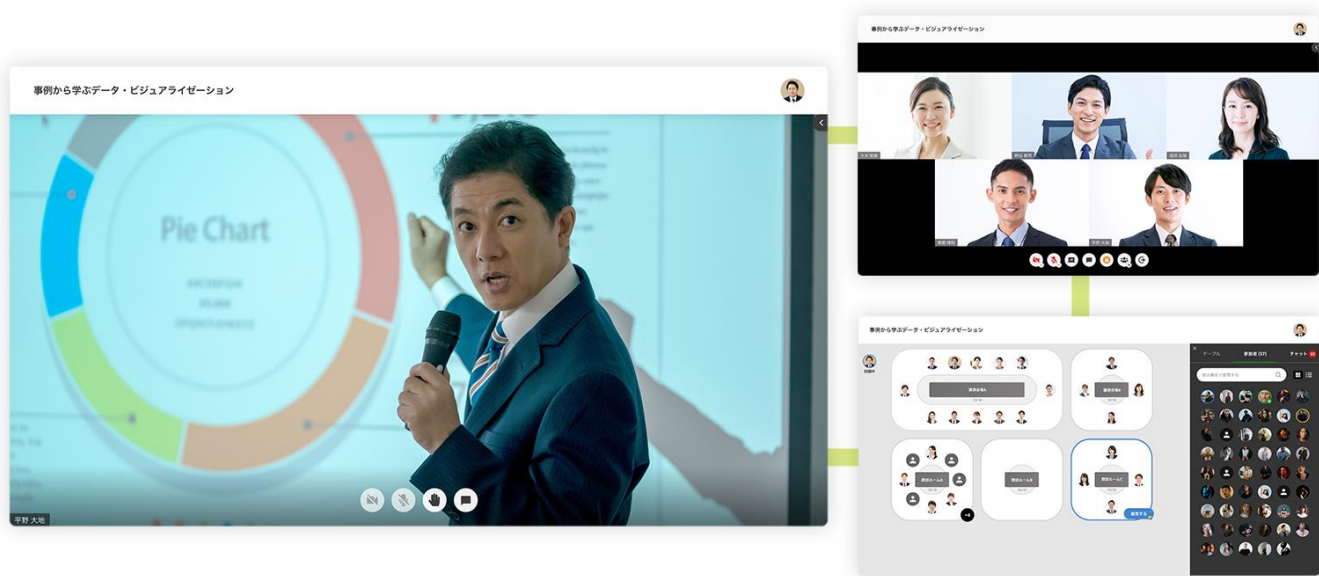


ハイブリッド型による相互補完

- 会場に集まれる人は集まり、集まらない人はリモートで  
→場所に制限されず人を呼び込むことで、**1回のイベントの費用対効果最大化**
- 名刺交換、交流会などの双方向コミュニケーションをイベントDX技術にて実現  
→視聴者がアクティブに参加できる**双方向型イベントによる一体感の醸成**
- 参加者の行動履歴などのデータが取得可能  
→データをもとにした**参加者への個別アプローチや、イベント開催・運営の改善**

## オンラインイベントプラットフォーム EventIn をリリース

－ 展示会・商談会・懇親会・採用説明会などN対Nのビジネスイベントで重要な、企業と参加者の出会いと交流を実現－



※一方向のセミナーの受講だけでなく、参加者自身がブースを自由に  
行き来し、別の参加者との双方向通話が可能となる

### 特徴

一方的な情報発信で終わらない、  
よりリアルに近づいたオンラインイベント

- ✓ 実現したいイベントの世界観に合わせたUIのカスタマイズ
- ✓ 参加者の動向データを一元管理
- ✓ 企業の個別セミナー、展示ブースでの声掛け、商談、質疑などのコミュニケーションが可能

### 利用シーン



- ✓ 展示会
- ✓ 商談会
- ✓ 合同採用  
説明会/面接会



- ✓ 懇親会
- ✓ 企業内  
イベント

## 事業環境

- 企業向けでは、テレワーク普及に伴うWeb会議の増加や、感染症対策の必要性から、**遮音性のある個室会議スペースの需要が拡大**
- 公共向けでは、駅施設や大型オフィスビルなどの**公共エリアにおけるインフラの一つとして、個室ワーキングスペースの需要が急拡大**

## 提供価値

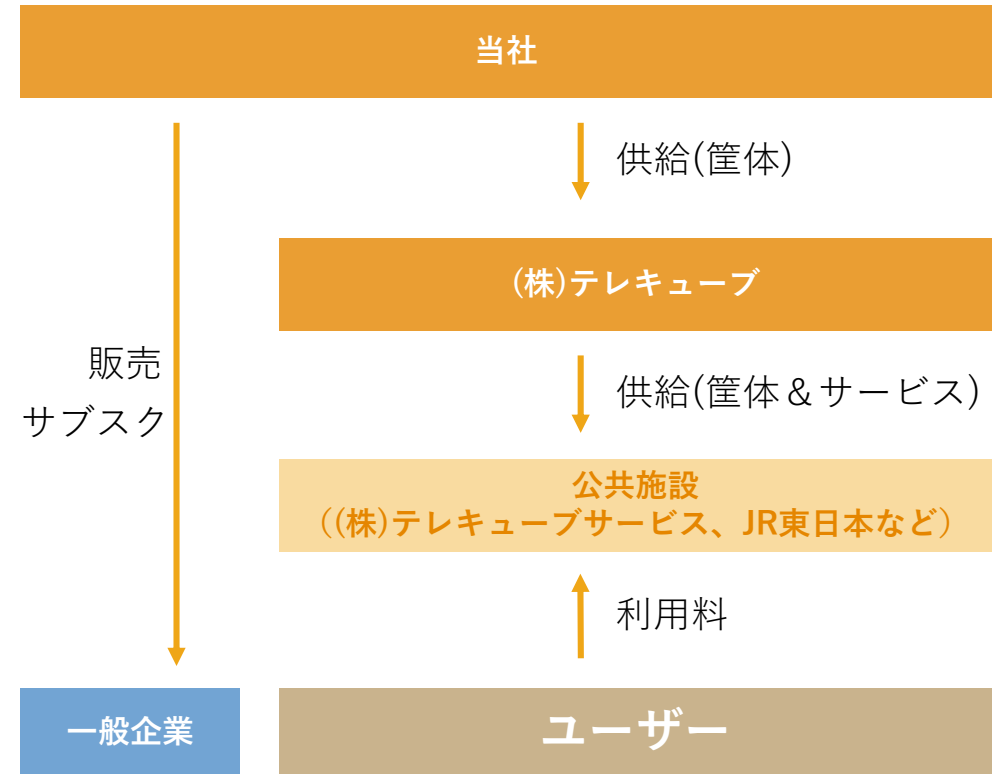
- 顧客ニーズに応じ、1人用～4人用まで、**幅広い選択肢を提供**
- サブスクリプション方式を選択肢に加え、顧客の初期投資負担を軽減**
- 法律に準拠し、**設置場所の選択が可能な設計**

## 事業方針

- 引き続き**オフィス、複合施設、JR/私鉄駅構内など、公共・商業施設へのテレキューブ設置を拡大し、社会インフラとなることを目指す**
- 長期的には**テレキューブ内部での付加価値アプリ/サービス実装や予約システムのソフトウェアインフラの横展開等、**  
サードプレイスインフラ整備の担い手として展開していく



(ご参考) テレキューブ供給体制の概要



公共向け事例（順不同）



東日本旅客鉄道株式会社様

JR新宿駅 等



西武鉄道株式会社様

所沢駅 等



三菱地所プロパティマネジメント株式会社様

新丸ビル 等



阪急阪神ビルマネジメント株式会社様

阪急ターミナルビル 等

代表的な設置シーン

- 駅構内、空港内、エキナカ飲食店
- 大規模商業施設
- オフィスビル
- マンション
- シェアオフィス
- 官公庁舎 など、拡大中

企業向け事例（順不同）



大塚製薬株式会社様  
大塚倉庫株式会社様



セガサミーホールディングス 様



ディー・エヌ・エー様



日本コムシス 様



東日本旅客鉄道株式会社様



フジEAPセンター 様



三菱地所 様



レノボ・ジャパン様



山口フィナンシャルグループ 様

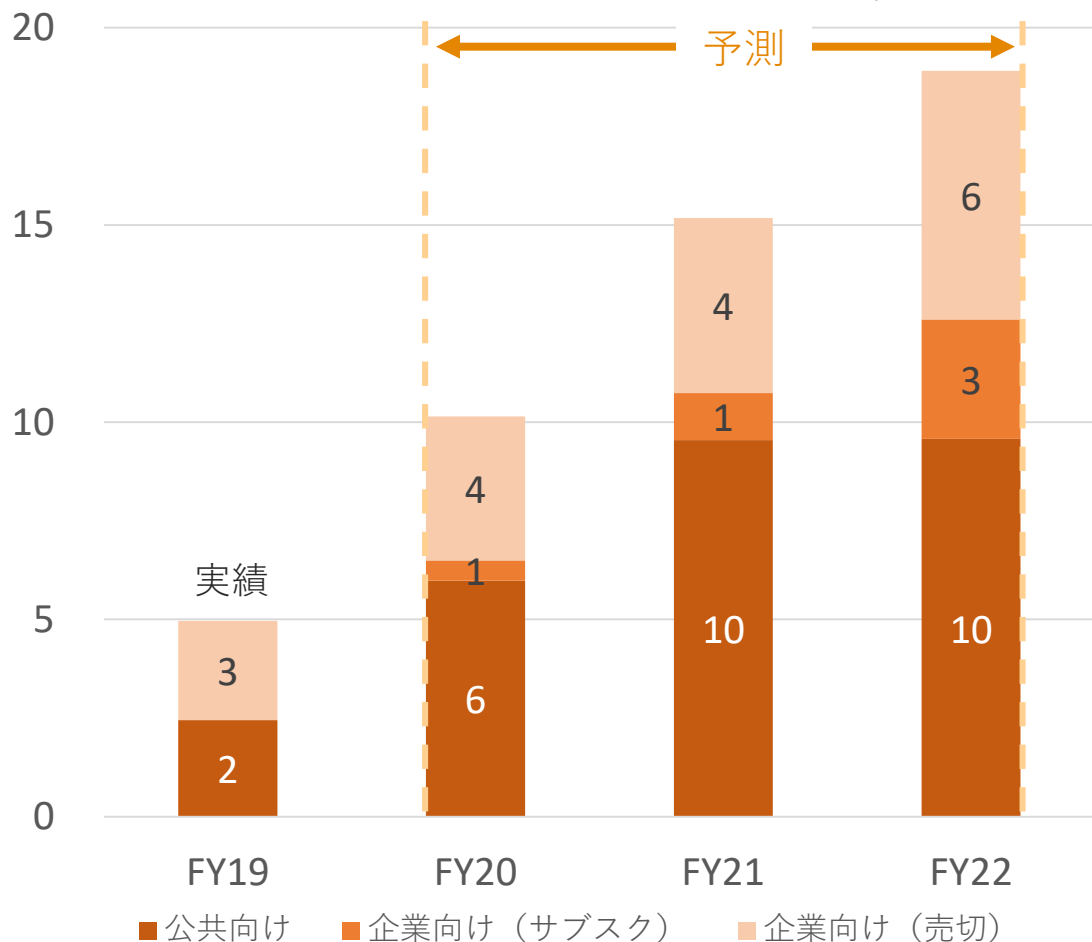
代表的な設置シーン

- 会議室代替
- 電話会議、テレビ会議スペース
- 工場現場でのWeb会議ブース
- 機密性の高い顧客サービス提供スペース
- 英会話レッスンスペース
- 来客者の待機スペース

売上高計画

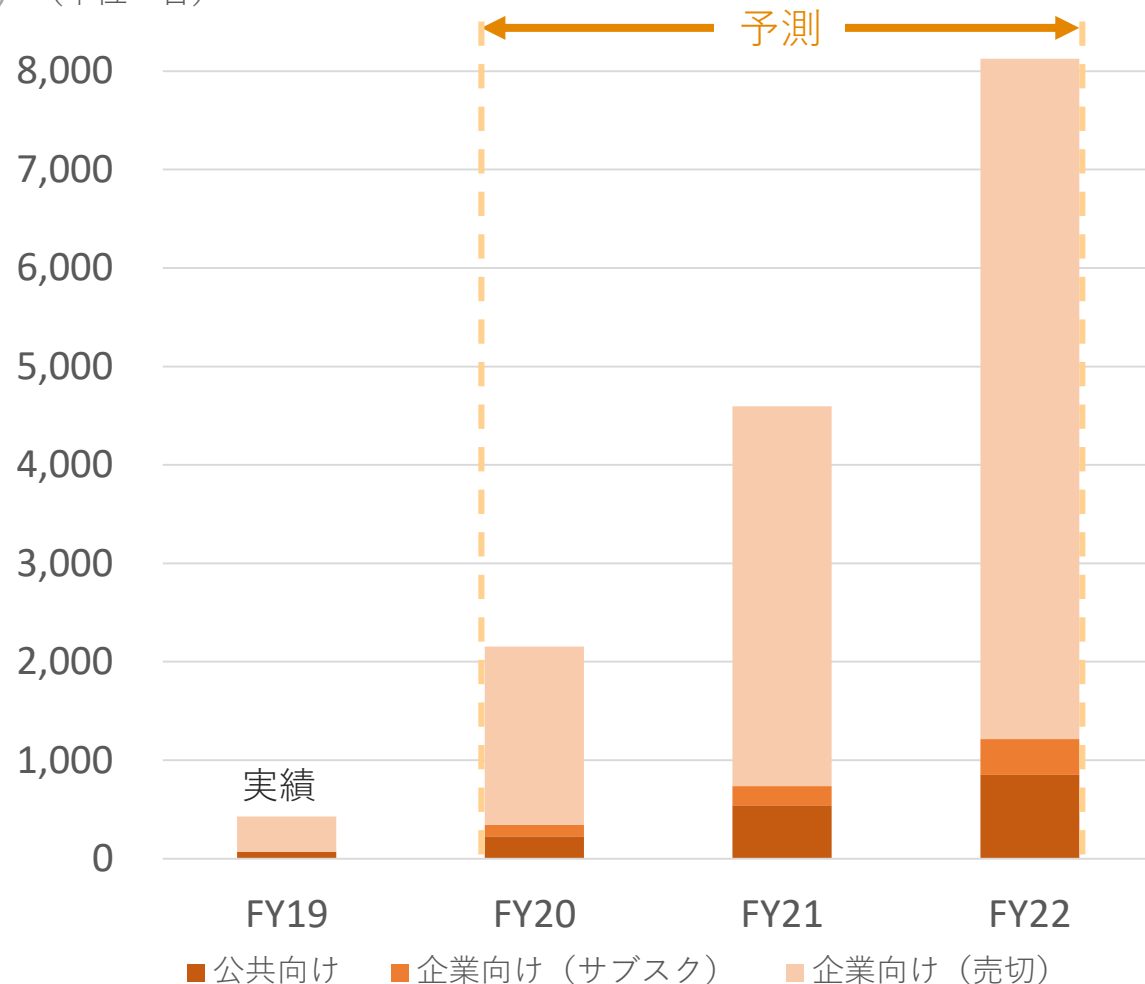
公共向けを、付加価値機能の充実とともに、大きく拡大していく

(単位：億円)



累計設置台数計画

(単位：台)





テレキューブは高付加価値サードプレイスとなり、サードプレイス予約管理・運営のインフラへも進化

高付加価値サードプレイス化

テレキューブを、多様なサービス・機能を提供できる高付加価値なサードプレイスへと進化させる



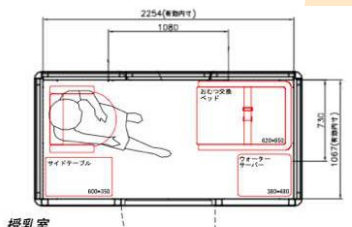
遠隔医療相談ブース



VR海外旅行ブース



遠隔ヨガ教室



授乳ブース

オンライン英会話、遠隔法律相談、遠隔化粧相談、オンライン占い、eスポーツ、一人カラオケ、音楽視聴、VR住宅相談、オンライン住民・公共サービス等…

サードプレイス予約管理・運営のインフラ化

テレキューブに限らない、様々なサードプレイスにおける予約管理・運営の、全国的/全世界的なソフトウェアインフラへと進化させる

テレキューブコネクト

サードプレイス予約・空間管理と運営のソフトウェア



グローバルなインフラサービスへ



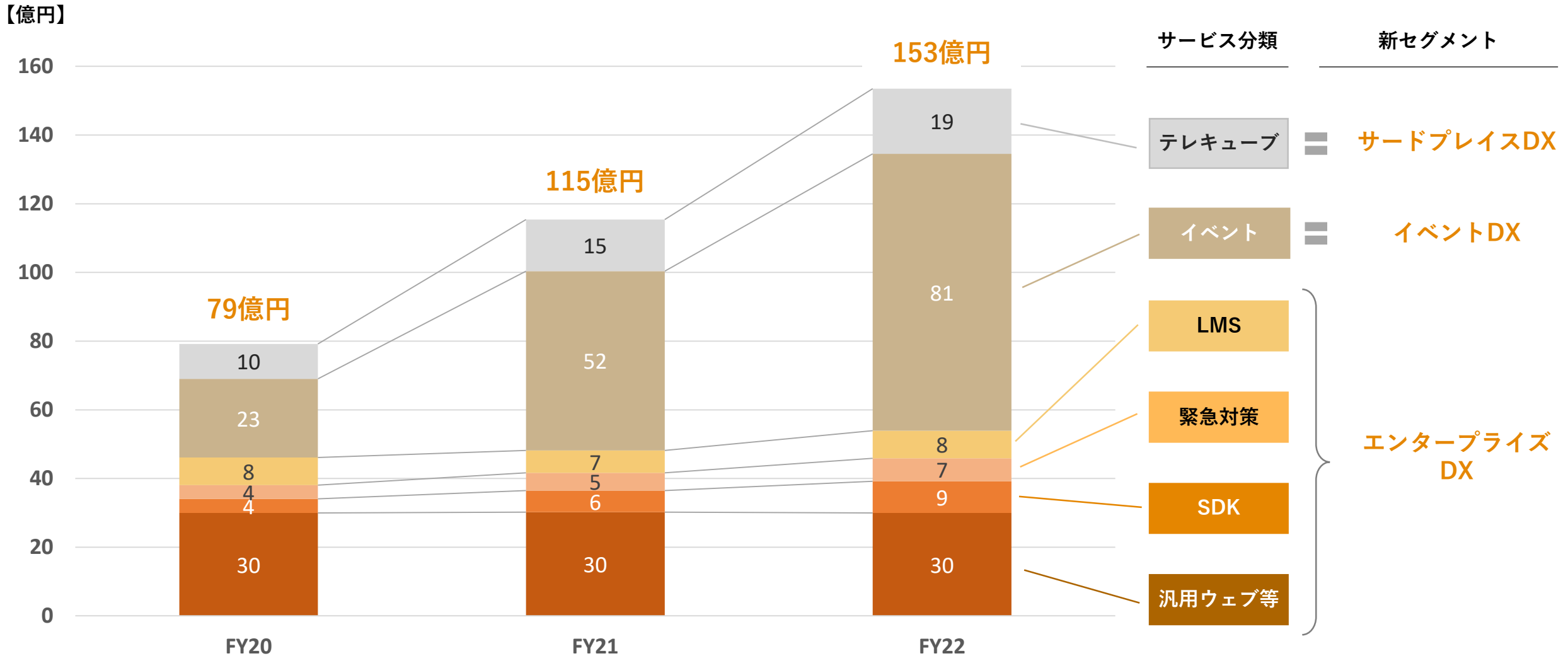


## 3. 経営目標

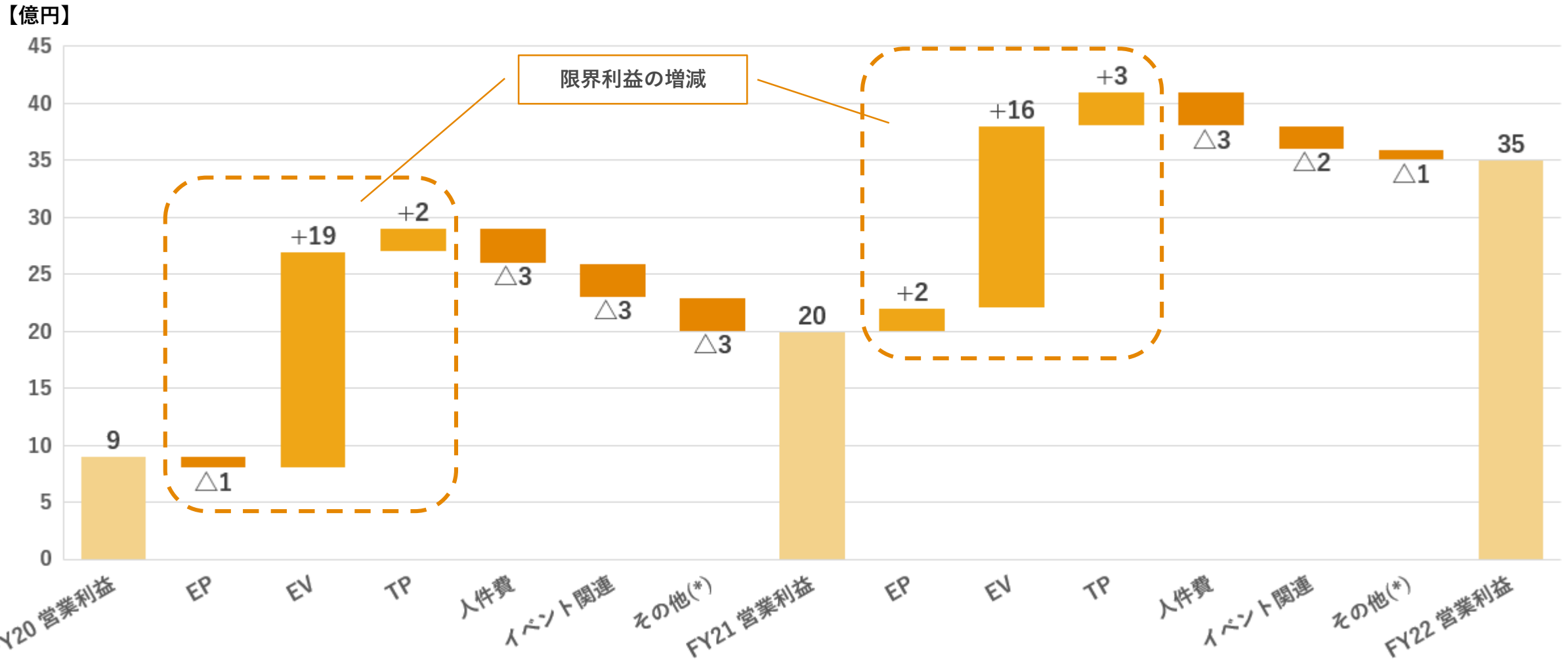
リモート化の急激な浸透を背景に高い成長を目指し、資本効率・株主還元も追求

主要経営指標		FY20 (見込)	FY21 (目標)	FY22 (目標)
連結	売上高	79億円	115億円	153億円
	営業利益	9億円	20億円	35億円
	純利益(*)	10億円	14億円	27億円
	ROE	27%	30%以上	35%以上
	配当性向	20%	20%をベースとし、30%を目指す	

「ウェブ会議」から「ソリューション」へのシフトを推進し、イベントDXが最大事業に拡大



イベントDX事業による利益増加を見込むとともに、必要な人員とキャパシティを拡大



「EP」：エンタープライズDX事業、「EV」：イベントDX事業、「TP」：サードプレイスDX事業、「その他」：主に社内業務のDXに向けた投資

## 当社の取り組み

### E (Environment)

- 社内/社外コミュニケーションにおけるリモート化のためのサービスを開発・提供
- 新しいコミュニケーション文化の導入と定着を支援

### S (Social)

#### 【ソリューション例】

- テレワークツール
- オンラインイベント
- バーチャル株主総会
- 遠隔医療

### G (Governance)

- 社外取締役の比率：50%
- 取締役のダイバーシティ（創業メンバーの他、会社経営や市長経験者、女性、専門家）

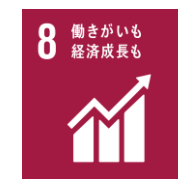
## 社会への貢献

- 物理的な移動によって発生するCO2などのエネルギー削減
- 物理的なモノの利用機会減少による省資源化

- 社会課題の解決
    - ✓ 機会均等
    - ✓ 情報格差是正
    - ✓ 地方創生
- ⇒ 「**Even**な社会の実現」

- 社会課題を解決する企業としてのガバナンス/コンプライアンスの強化
- 多様な人財による社会課題解決のためのアイディア・ノウハウの集結

## SDGs



本書は、株式会社ブイキューブ（連結子会社を含む）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述を含みます。これらの記述は、当社が本書の作成時点において入手した情報に基づき、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、アニュアルレポート等をご参照ください。

本書における将来に関する記述は、本書の作成時点のものであり、本書の作成時点の後に生じた事情によりこれらの記述に変更があった場合でも、当社は本書を改訂する義務は負いかねますのでご了承ください。

本書における当社以外の企業等にかかわる記述は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社はこれを保証するものではありません。本書で使用するデータまたは表現等の欠落、誤謬、本書の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本書にかかる一切の権利は、株式会社ブイキューブに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

# Evenな社会の実現

～すべての人が平等に機会を得られる社会の実現～



Beyond テレワーク  
**V-CUBE**